



青少年創造性開發育成事業 報告書 2015

Annual Report 2015
Promotion of Young People's Creativity

≡ 巻頭メッセージ ≡



「少年少女発明クラブの活動は、 アクティブ・ラーニングへの第一歩」

信州大学学術研究院教育学系 准教授 伊藤 冬樹さん

大町少年少女発明クラブ OB

*在籍期間：1986年(小4)～1988年(小6)

★当時の発明クラブでの思い出

ー縦のつながり、横のつながり、ななめのつながりー

小学校4年生の4月、担任の先生から「発明クラブ」の案内がありその存在を知りました。開講式から参加したわけではなく、その翌週に友人から誘われて加入しました。当時は「発明する」というよりは「遊びに行く」といった感覚で参加しており、同じ学校ではなく市内の他の小学校の友達もできました。

学校と違うつながりを通して、発明工作のみならずバーベキューや鬼ごっこ、夏の流しそうめんなどのイベント(野外で遊んだこと)は今でも鮮明に覚えています。とはいえ、自分の家ではできない工作、使ったことのない道具の使い方を教えていただき、この頃に覚えた「半田付け」は今でも簡単な工作や修理のために役立っています。

これらに代表されるクラブ活動は、学校のカリキュラムとは全く異なる「学び」の場であったということです。この頃に指導いただいた方々やメンバーとは、今でもたまに会食をしています。特に市内の異なる学校の友達との交流や学校の先生とは異なる大人の存在は、同じ学校の中での縦と横のつながりとは異なった、斜めへ広がるつながりの場ではなかったかと思っています。このような人とのつながりは、今後の地域社会やグローバル社会を生きていくためにますます重要になってくると思います。



発明クラブ員の時の写真。江崎玲於奈先生(左から3番目)と伊藤さん(左から4番目)

小学校6年の時に、発明クラブとしてアマチュア無線のクラブ局を開設するというので、その取得に熱中しました。無線工学などは理系的な要素がふんだんに含まれていますが、対面ではないにせよ、見ず知らずの人と直接やりとりできるアマチュア無線通信の経験は、社会人スキルとして必要なものであると思います。通信の時間帯・周波数帯などによって生まれる偶然の出会い、他の通信手段では得にくいのではないかと思います(かくいう私も現在では全く使っていません)。

これらの全ての経験は、その時期にしかできなかったこと、その時期だからできたことであったのだと思います。

★現在の研究と発明クラブで学んだこと

ーアクティブ・ラーニングへの第一歩ー

もともと(高校時代)は、小・中学校(理科)の先生になることを希望していました。その道として教育学部へ進学したのですが、そこでの経験や出会いによって、研究の道に進むことにしました。

電気工作やアマチュア無線に没頭していたこともあり、工学系に興味がなかったわけではありませんが、薬品を使った実験、化学変化への興味の方が強く、化学を専攻することにしました。

専門分野としては「光化学」とよばれる領域で、光の照射にともなう物質の変化、反応、色の変化や発光の性質などを調べています。実用・応用分野としては、人工光合成や太陽電池などエネルギー問題にも直結するような領域です。

その中で特に興味をもっている内容は、溶液からの再結晶で有機分子の結晶が生成する過程でどのような分子の集まり方をしているのかであり、これを蛍光(発光)の色変化として調べています。結晶がどのように成長するのかといった基礎的な科学のみならず、高効率な発光材料の開発にも直結します(右上図)。

研究者は、専門領域のことだけに没頭しているように思

★蛍光スペクトル変化を利用した分子集合化過程の研究

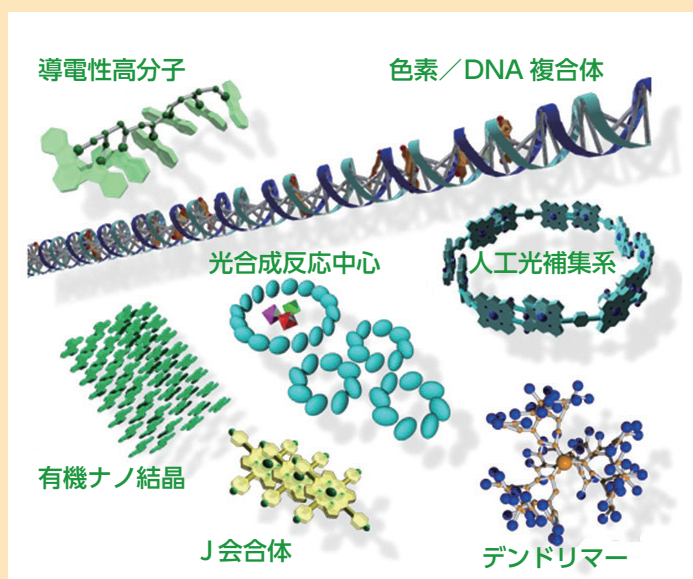
有機分子固体は太陽電池やディスプレイなどに利用される有機 EL といった光電子材料に利用されている。

これらの電荷輸送やエネルギー移動などの機能は、分子間相互作用と密接に関連しており、分子集合体の構造・サイズなどが重要な因子となる。

有機結晶のような分子間力によって形成される分子集合体では、その集合形態・サイズなどによって発光などの光物理化学特性は大きく変化することが知られている。

このことは蛍光スペクトルの変化から分子の集合形態を追跡できることを示唆している。

そこで、蛍光スペクトルを利用した分子集合化過程の研究を中心に行っている。



われがちです。勉強をしている段階であれば、その教科書の内容をじっくりと理解することに傾注すればいいのかもしれない。

しかしながら、未知の領域を開拓していくためには、例えば、市販されていないような実験器具を自作する場合も必要であり、また、測定においては電気工学（応用物理）の知識も必要になります。「隣の芝生は青い」という言葉があります。しかし研究者は「隣の芝生で生きていける」ことが重要ではないかと思います。それは、これまでにない新しい分野を開拓し、バックグラウンドの異なる研究者へも影響を与え、そして認識されていくことが必要不可欠だからです。そういった点で、発明クラブで学んだことは、直接的でないにせよ現在の研究生生活にも生きてきています。

小学生の頃は、発明工夫展に出展するようなものについて、とりたてて成果はなく（全国展での入選なし）、むしろ苦手意識をもっていたことが、逆に現在の仕事の活力へつながっているのかと思っています。

小学校高学年の時期をふりかえると「○○をつくりたい」と漠然と興味だけ先行していたことが多々あったように感じます。指導員の先生からは「設計図は描いたか？」といわれ、ダメ出しされることをくり返していました。結局「どんなコンセプトなのか」「どのようにするか」「つくるために何が必要か」「実現可能なか」などなど、そういったことをしっかり考えていなかったということです。

このことは、新しい研究を立ち上げ、研究費を獲得する、

ひいては研究の意義を深める・広く伝える上でも重要なことです。このようなことは社会人（大人）になってから、少し経験した程度ではなかなか身につきません。子どもの頃にご指導いただいた経験によって、結果的に問題解決のための考え方を身につけることができ感謝しています。研究者になる・ならないにかかわらず、このような考え方は将来の日本社会を鑑みたときに重要になってくるものと確信しています。

近年、教育界では「アクティブ・ラーニング」というキーワードが叫ばれています。定義としては、「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である」とされています。能動的な学修をとらえて、これからの時代を生きていく汎用的能力の育成が重要であると理解しています。

小学校高学年の時に漠然と能動的に遊びたい（学びたい）と思い参加した発明クラブの存在によって、30年以上前からこれを自然発生的に実体験できてきたことが今日の（研究）生活につながっているのだらうと自負しています。発明クラブの益々の発展を祈念しております。

目次

巻頭メッセージ

ご挨拶 3

少年少女発明クラブ 4

全日本学生児童発明くふう展 8

未来の科学の夢絵画展 10

全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 12

地域活性化アイデア創作活動 14

少年少女発明クラブ指導員表彰 15

青少年創造性開発育成海外交流 16

メッセージ紹介 18

全国の少年少女発明クラブ一覧 20

2015年度 青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金 24



ご挨拶

公益社団法人発明協会

会長 庄山悦彦

発明協会が行う青少年の創造性育成に関する事業に対し、日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本報告書では、当協会の青少年創造性育成開発事業である「少年少女発明クラブ」や「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」等を通じ、創作活動に真剣に取り組む姿や仲間と協力しながら競技に挑む姿など、子どもたちが活き活きと活動を行う様子を見ていただくことができます。

少子高齢化や資源・エネルギー問題など様々な課題が存在する中、国際競争を勝ち抜いていくためにはイノベーションの創出を促進していくことが重要となります。当協会では、未来のイノベーターたる青少年の科学的思考力の向上や創造性育成に寄与すべく、今後も活動を推進して参りたいと存じます。

2016年には世界中から科学技術に対する希望あふれる絵画を集め、インターネット上での展示を行う「未来の科学の夢絵画展 ネット美術館」の開設を、2017年には世界の青少年による発明工夫作品を展示する「世界青少年発明工夫展」の日本開催を予定しております。発明協会は今後も様々な事業を通して子どもたちの可能性を育み、創造性を養って参りますので、皆様方におかれましては引き続きご理解、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



◆総 裁 常陸宮殿下

◆会 長 庄山 悦彦(株式会社製作所 相談役)

◆目 的 発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及啓発等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって我が国経済の発展に寄与することを目的とする。

◆事 業 (1) 恩賜発明奨励事業 (2) 発明奨励振興事業
(3) 青少年創造性開発育成事業 (4) 知的財産権制度普及等事業



少年少女発明クラブは、発明協会創立70周年の記念事業の一環として、1974年にスタートしました。全国47都道府県に218か所、約9000名の子どもたちと約2800名の指導員が活動しています。

(2016年3月31日現在)

≡ 子どもたちが主体的に学び、学校教育とは一味違う経験をしています

「工作がしたい」、「発明がしたい」といった意欲をもった子どもたちが集まり、のびのびと自由に発想し、主体的に学びながら楽しんで活動をしています。学校は先生に教わることが中心ですが、発明クラブは様々な学年の子どもたちが自分の意思で集まって一緒に活動しています。学校とはまた一味違う楽しさや学びを得ています。



≡ 発明クラブは、地域と共に歩んでいます

活動場所は地域によって様々ですが、学校、科学館、公民館、児童館、その他の公共施設などで活動するクラブがたくさんあります。また、活動で使用する木材、電子部品などの資材を、地場を支える企業からのご厚意で提供いただくなど、地域ぐるみで、子どもたちの成長を支援する場となっています。



≡ 様々な分野の経験豊かな指導員によって活動が支えられています

指導員として登録いただいている方は、地域企業の技術者、学校の先生、技術者OB・OG、教員OB・OG、学生ボランティアなどです。日ごろから、指導方法・教材の研究、指導員・発明クラブ間で情報交換を積極的に行って、熱心に、子どもたちとのふれあいを楽しみながら活動していただいています。



2015 全国少年少女発明クラブ創作展を開催

2015 年 10 月 24 日、25 日の 2 日間
にわたり、徳島県徳島市で開催しました。
全国の発明クラブからユニークな作品
が集まり、多くの来場者に活動の成果
を見て触れて楽しんでもらいました。



出展作品をご紹介します！



「気体潤滑運動体」

乾電池 4 本の力で、人を乗せて進みます。
(松戸市少年少女発明クラブ)



「ジオラマ“ほたるの里”」

のぞき窓に近づくと LED 蛍が点滅し、小
川のせせらぎとコオロギの鳴き声が聞こ
えます。

(北島町少年少女発明クラブ)



「未来の来島海峡大橋レジャー施設」

将来こんな施設になったらいいなという
アイデアを形にしました。

(今治市少年少女発明クラブ)

発明クラブ卒業生たちの その後の活躍をご覧ください

<<< はつめいクラブセンパイ図鑑 >>>

JAXA に入社し、種子島宇宙センターでロケット打ち上げ業務！

浅村 岳さん (21 歳)

防府市少年少女発明クラブ (山口県)

小4～中2までの5年間、クラブ員として活動。



プロフィール

宇部高専 (山口県) の制御情報工学科に進学し、コンピュータで機械を制御する勉強や、人工衛星の画像処理に関する研究に取り組みました。卒業後、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) に入社し、現在は鹿児島県にある種子島宇宙センターでロケット打ち上げ業務に携わっています。

発明クラブで体験したレゴロボットのプログラミングは、後に制御情報工学科に進学するきっかけになりました。

当時のクラブの思い出としては、毎年実施していた木工工作教室が好きでした。また、年度末の発表会では、プレゼン能力を培いました。

メッセージ

発明クラブの魅力は、木工工作、化学実験、電気回路やプログラミングにいたるまで、様々な「ものづくり」を体験できることでした。宇宙開発はとても複雑な分野であり、あらゆる専門知識が必要とされます。しかし、一人だけで全ての学問を理解しないといけない訳ではありません。たくさんの体験の中で、一つでも自分の「好きなこと」を見つけて、それを伸ばしていけばいいと思っています。発明クラブは、そのきっかけを見つける最高の舞台です。

近畿大学産業理工学部に進学、IT/Web を勉強中！

丸林 恵さん (22 歳)

飯塚少年少女発明クラブ (福岡県)

小5の時にクラブ員として活動。



プロフィール

福岡県飯塚市にある近畿大学産業理工学部情報学科に在籍。飯塚市が大学生を対象に支援を行う「チャレンジプロジェクト」では、NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンターと筑豊ゼミのウェブサイト作成を行いました。

現在は、筑豊ゼミ内の情報発信 / データデザイン研究会の一員として、筑豊ゼミの活動の周知を目的としたウェブサイトの保守・改善作業を行っています。ウェブサイト開設者の目的に沿い、効果的なウェブサイトの作成を目指し、将来はウェブに関係した職業につきたいと考えています。発明クラブの活動では、木製のオルゴール作りが思い出に残っています。自転車に人形が乗った形のオルゴールで、ネジを回すと鳴るだけでなく車輪が回る仕組みになっており、完成して上手く動いたときは、動くものが作れたことがとてもうれしかったです。

メッセージ

私は工作を通して、やってみればできるという自信と、楽しさを多く感じてきました。特に発明クラブでは、自分一人では用意できない工作をする機会を得られると思うので、いつもできない工作に取り組み、できたという感覚をぜひ楽しんでほしいです。



クラブ在籍当時の丸林さん

20代でITベンチャーを起業！

伊藤 貴之さん (27 歳)

盛岡市少年少女発明クラブ (岩手県)
小4の時にクラブ員として活動。



プロフィール

岩手県立大学を卒業後、東京の野村総合研究所にて、システムエンジニアとして小売業・飲料・石油業界のデータ分析系システムの新規事業で開発を担当。2014年退職後、岩手にて株式会社チイキットを創業。

生まれ育った地元、岩手県で会社をつくり社長をしています。主にスマートフォンのアプリケーション開発などを行っています。エンジニア (社員) が成長でき、エンジニアとお客さまがワクワクするような会社になりたいと思っています。その他、テレビや講演などでも活躍しています。

メッセージ

ものづくりが楽しいという気持ちは、発明クラブがきっかけでした。それから紆余曲折ありましたが、今ではシステム開発という、ものづくりに携わる仕事をしています。小学校では足が速いことや勉強ができることで評価されることが多いと思います。ですが、大人になってから、新しいことに挑戦することやアイデアに価値があることを気付かされます。発明クラブは1歩早くそのことに気づくことができる環境です。楽しんで活動して欲しいと思っています。

発明クラブの経験がアメリカ留学へと導きました！

西亀 真之さん (21 歳)

豊田少年少女発明クラブ (愛知県)
小2～中2までの7年間、クラブ員として活動。



前列左から3人目が西亀さん



プロフィール

地元名古屋の名古屋大学工学部機械航空工学科3年生。TEDxNagoyaUの代表として活躍。発明クラブを卒業して7年、豊田少年少女発明クラブの後輩を指導しています。2015年8月より、シンシナティ大学に留学中。ノーベル賞受賞者の天野教授をはじめ、9人のスピーカーに工学、性、医療、音楽、スポーツ、食、教育など様々な分野の価値あるアイデアについてのプレゼンテーションを行ってもらった「TEDxNagoya U」。そのイベントの実行委員の代表を務めました。アメリカのシンシナティ大学に留学すると同時に、「トビタテ！留学 JAPAN」2期生としてOM (世界的な知恵の競技会) の審査員についての勉強をしています。



左はクラブ員時代の西亀さん (当時14才)。2008年アメリカで行われたOM世界決勝大会に豊田少年少女発明クラブチームとして出場。日本での厳しい訓練で、スポンテニアス (即興・発想競技) で世界1位、バルサ構造物競技 (模型飛行機等で使うバルサ材で構造物を作り、重量挙げで使うウェイトを積み、222kgの記録) で世界11位、総合6位入賞。写真は、50か国参加のパナーパレードの様子。



メッセージ

発明クラブを通してとても多くの経験をさせていただきました。

モノ作りの楽しさや、OM世界大会にて日本の外の世界について知り、刺激を受けました。その経験が今の工学部での勉強や、アメリカ留学へと繋がっています。発明クラブで活動を楽しむと同時に多くの事を経験して欲しいと思っています。



恩賜記念賞

私は、小さい頃から工作をしたり、計算をしたりするのが大好きです。将来、世の中のためになる発明や発見をたくさんしたいと思います。

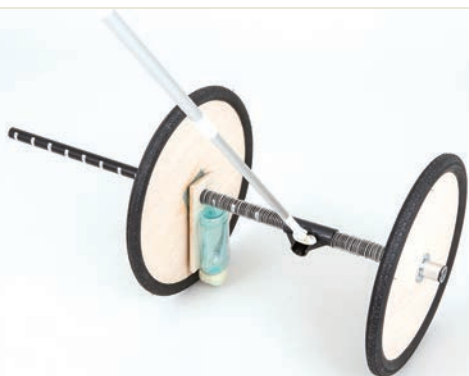


むしんこ 「無針弧ンパス」

私立聖徳学園小学校(東京)

2年 ^{みちわき}道脇 ^{えこ}愛羽さん

※学校・学年は応募時のものです。



ある日、母が飲み終えた紙のコーヒーカップをもらって工作することにし、もらった紙コップを転がしてみたところ、弧を描いて転がったのです。それを見て「まるでコンパスのようだ」、「この原理を利用してコンパスを作れないか?」と考えました。従来品は大きな円弧は描けず、針と鉛筆の間に障害物がある場合も描けません。本案は針無しで望む半径の円弧を描けます。紙コップやロールペーパー芯で実験を繰り返し、得意の数学でも検討を重ねて試作し、半径10mの円を描き実測したところ、±20mmほどのズレの円を描けました。

第74回 全日本学生児童発明くふう展

全国各地域にて開催された発明くふう展において優秀な成績をあげた761点の作品が各地域から推薦されました。



■展覧会

会 期：平成28年3月23日(水)～3月27日(日)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館1階 展示・イベントホール

■表彰式

会 期：平成28年3月23日(水)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館地下2階 サイエンスホール

■受賞内訳

恩賜記念賞…1件、特別賞…13件、奨励賞…20件、入選…121件
計155件

■主催・後援

主催：公益社団法人発明協会

後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、公益財団法人 日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、公益社団法人全国工業高等学校長協会

本展覧会は、子どもたちにもものづくりを通じて、創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、その創造力を育てることを目的に開催しています。夏休みの自由研究、発明クラブ活動の中から生まれた作品、ユニークな生活用品など、アイデアに満ちた作品が全国から出品されています。

発明くふう作品の展示以外にも、協賛企業や発明クラブによる
発明教室、電子顕微鏡や真正品・模倣品などの特別展示も実施しました。

3/23 Wed.

見える光・見えない光 光の三原色 LEDライトを作ろう！

講師：三菱電機株式会社
人材開発センターの皆さん

光には目に見える光と、目に見えない光があります。光と色のしくみを知って、いろんな色の光を作ってみました。LEDライトの工作もしました。



3/24 Thu.

知ってみよう！ 作ってみよう万年筆

講師：株式会社パイロット
コーポレーション
栗山兼臣先生
谷平徹治先生

インクと万年筆の仕組みを学んで、自分だけの万年筆を作りました。



3/25 Fri.

手作りモータを作ろう！

講師：さいたま市少年少女発明
クラブの先生方

エナメル線でコイルを作って、磁石と電池の組み合わせで、回転モータを作成しました。



3/26 Sat.

おもしろカー 「クロール・バギー トラックスペシャル」

講師：台東区少年少女発明
クラブの先生方

いろいろなおもしろい動きで走る車「クロール・バギートラックスペシャル」を作りました。



3/27 Sun.

本づくりのひみつ ～“リングとじ”の発明 ノートを作ってみよう！～

講師：大日本印刷株式会社の皆さん

本がどのような工夫をして出来ているのかを学びました。世界に一冊の自分だけの発明ノートも作りました。



特別展示コーナー(3/23～3/27)

知っているものの知らない世界！ 電子顕微鏡で見よう！

協力：株式会社日立ハイテクノロジーズ



ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？

協力：国際知的財産保護フォーラム (IIPPF)



善ちゃんのサイエンス教室(3/23～3/27)



テレビでもおなじみのサイエンス演芸師「善ちゃん」こと北沢善一先生が、5日間、会場に来てくれました！





文部科学大臣賞



私は、いつかこの「手話電話機」のような機械が発明され、手話ができる人とできない人同士が会話を楽しみ、快適な生活ができるようになることを願っています。

そして、よりよい社会を築いていくためには、自分のことだけでなく他の人の生活にも目を向けることが大切だと改めて感じました。



十和田市立三本木小学校(青森県)

6年 ^{いせやめぐ}伊瀬谷 芽生さん

※学校・学年は応募時のものです。

「手話電話機」

耳が不自由な方でも電話が出来るように、相手の名前としゃべったことが画面に手話と文字で出ます。

第38回 未来の科学の夢絵画展



■展覧会

会 期：平成28年4月12日(火)～4月24日(日)

会 場：国立科学博物館 日本館地下1階

■表彰式

会 期：平成28年4月22日(金)

会 場：国立科学博物館 日本館2階 講堂

■受賞内訳：

応募総数：9,109点

	特別賞	優秀賞	奨励賞	合計
小学校・中学校の部	11	49	81	141
幼稚園・保育園の部	1	5	40	46
外国人学校の部	1	5	11	17
合計	13	59	132	204

■主催・後援

主催：公益社団法人発明協会

後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、
日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、
朝日中高生新聞、公益社団法人 日本美術教育連合、
公益財団法人 美育文化協会



本絵画展は、未来への夢を自由な発想によって絵に表現することで、科学への関心を高めてもらうことを目的として開催しています。構図、色使い、コメントなどのすべてに青少年が科学に見る夢を感じ取ることができます。

経済産業大臣賞

「発電木」



砥部町立麻生小学校(愛媛県) 5年

山内 悠友さん

光合成をする時電気を発電する木です。幹にプラグがあり、さすと電気自動車の充電、電化住宅の電気も全て使えます。この木は発電時CO₂を出しません。

特許庁長官賞

「ナビゲーションキャップ」



射水市立小杉小学校(富山県) 6年

杉本 樹さん

目の見えない人がこの帽子を被ると、頭の中に現在地と目的地を示した地図が浮かび上がり、進む方向や周囲の危険を教えてくれ、安全に歩くことができます。

(幼稚園・保育園の部)

発明協会会長賞

「こころのぼうし」



高岡第一学園附属第三幼稚園(富山県)

越川 恵巡さん

嫌な気持ちを忘れる帽子。怒ってるお母さんが笑顔に。優しいお父さんはもっと優しく。泣いてる妹は泣きやんだ。笑顔が溢れて、手を繋ぎたくなるよ。

(外国人学校の部)

発明協会会長賞

「Happy mind」



関西クリスチャンスクール(奈良県) 3年

Jonne Sainioさん

ハッピーマインドの出す泡がマイナス思考の人の所に飛んで行くと前向きに変わる。この様にハッピーマインドは戦争や汚染やストレスをなくしてくれる。

※学校・学年は応募時のものです。

展覧会場は多くの来場者で賑わいました。



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

▶▶▶▶▶ 課題 からくりパフォーマンスカー ◀◀◀◀◀



チーム名 コットンキャンディー (愛知県代表)

作品名 風あげ

タイヤの回転する力を利用して巻き尺を繰り出し、風が空高くあがる様子を見事に表現。手筒花火からは豊橋の名産品がいくつも飛び出しました。



チーム名 WIT (東京都代表)

作品名 奥深き東京

東京駅の駅舎がせり上がり LED で飾られた地下街が姿を現しました。最後尾の山車からは国産ジェット機も飛び立ちました。

第6回 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト



■地区大会

会 期：平成27年7月～9月

参加都道府県：37都道府県

実施地区数：82地区

参加チーム数：660チーム

■全国大会

会 期：平成27年11月28日(土)

会 場：東京工業大学 屋内運動場

出場チーム数：60チーム(うち、上位20チームが決勝進出)

■主催・後援・特別協賛

主 催：公益社団法人発明協会

後 援：文部科学省、経済産業省、特許庁、東京工業大学、
日本弁理士会、NHK、読売新聞社

全国連合小学校長会、全日本中学校長会

特別協賛：株式会社荏原製作所



本事業は、与えられた課題を如何にクリアするかを競うものです。自ら考えたアイデアや工夫を作品の中に取り込み、より良い成績を残すかが問われます。チームで力を合わせることが何より必要です。競技会では他の優れた作品を目にして刺激を受けることもあるでしょう。競技会特有の熱気の中で、創造力の伸長を図ることを目的に行っています。

コンテスト概要

コンテスト課題：「からくりパフォーマンスカー」

コンテスト内容：地元地域などPRしたいものを紹介

■課題

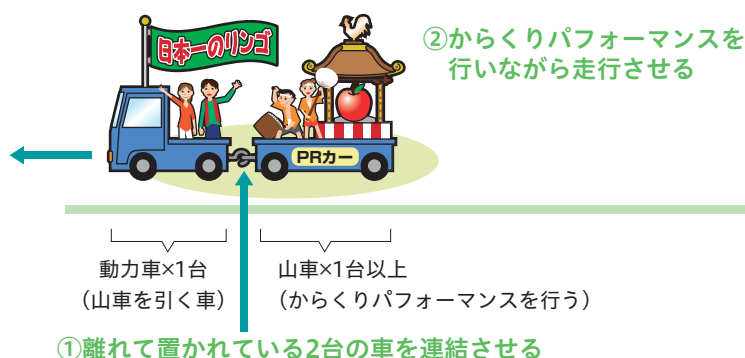
制限時間1分で、2つの課題をクリア

①動力車と山車を連結

②パフォーマンスを行いながら走行

■審査のポイント

- ・パフォーマンス走行の正確さ
- ・パフォーマンス内容
- ・作品（山車・動力車）の工夫点
- ・作品プレゼンテーション（決勝のみ）



①離れて置かれている2台の車を連結させる

全国大会結果

区分	メダル	賞名	都道府県	チーム名	パフォーマンスのテーマ
特別賞	金メダル	文部科学大臣賞	愛知	コットンキャンディー	嵐あげ
		特許庁長官賞	東京	WIT	奥深き東京
優秀賞	銀メダル	発明協会会長賞	千葉	松	松戸の花火
		発明協会会長賞	愛知	竜の巣	これが万燈だ！！
		発明協会会長賞	広島	広島折鶴隊	HTIT 2nd
		JKA会長賞	山形	Boyz III Men	夢未来・山形
		荏原製作所賞	滋賀	Mother Lakes	走れ!! ぼくらの弁天号!!
		日本弁理士会会長賞	愛知	トリプルスター☆☆☆	自然と工業が調和する未来の幸田町
		NHK会長賞	愛媛	夢の四国新幹線走らせ隊	牛車・ぼっちゃん列車から夢の四国新幹線へ
		読売新聞社賞	愛知	チーム 新川	MIRAIから環境未来へ
		WEBポイント賞	京都	京モノづくり隊	京の四季と文化



地域活性化アイデア創作活動



富山県砺波市

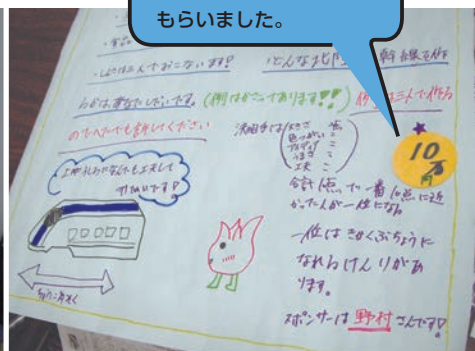
「となみ 砺波のはつめいキッズが町おこしに取り組みました！」

概要

地域活性化アイデア創作活動とは、地域の課題を子どもたちのユニークなアイデアで解決しようという取り組みです。今回は、砺波市少年少女発明クラブのみなんで9月のとなみ産業フェア・パワー博での発表をめざしてがんばりました。

- 活動日 全5回 平成27年5月9日(土) 砺波の良い所を改めて考えて、PRのアイデアを練りました。
6月13日(土) 3グループに分かれてPR製作物の設計と製作を行いました。
7月11日(土) 全力で製作活動に取り組みました。
9月12日(土)、13日(日) 「となみ産業フェア・パワー博2015」で発表！
- 参加者 砺波市少年少女発明クラブ員21名、指導員、保護者 他
- 講師 吉谷 達嗣(ジュニアコンタクト 主宰)
- 会場 砺波まなび交流館(製作会場) チューリップ四季彩館(発表会場)
- 主催 公益社団法人発明協会

いくつかの班を作って、それぞれが「会社」として、リーダー(社長)等の役割を決め、チームワークを活かして製作に取り組むことにしました。会社ごとにアイデアをまとめて、みんなの前で発表します。



良いアイデアには黄色の10万円出資金シールをもらいました。



「となみ産業フェア・パワー博2015」に砺波市少年少女発明クラブのブースを出展しました。ステージPRも元気にできました。大盛況な発表会では、クラブ員も地元の人達から励ましの言葉をいただき、楽しい交流となりました。





砺波平野は、風の状態がよく、着陸地点を確保しやすいことから、熱気球愛好家に支持され、熱気球のメッカとして知られるようになりました。

また、砺波市は、チューリップ球根の生産量全国一を誇っています。4月下旬には畑一面じゅうたんのように咲き揃ったチューリップが見られます。

この作品は、野に咲くチューリップ畑と上空を舞う熱気球を表現しています。チューリップは風にそよぐように動き、熱気球は舞い上がります。



砺波の子ども歌舞伎は、200年を超える永きにわたって、となみ野に春の到来を告げる風物詩として親しまれてきました。

この作品は、着飾った子ども歌舞伎役者がダイナミックに踊る様子を表現し、来場者にPRしました。

本事業は、住んでいる地域の課題を子どもたちが見つけ出し、解決するためのアイデアを形にして、その成果を地域で発表・実践する教室です。身近な課題を解決するための答えは1つとは限らず、アイデアを出すことも難しく、またそれを形にしていくプロセスにおいても大きな試練が幾度となく待ち受けています。子どもたちはこうした一連の取り組みから、互いに協力して、乗り越えていく経験を積んでいきます。

アイデア力、コミュニケーション力、行動力、仲間意識、そして郷土に対する愛が子どもたちの心に芽生えていきます。

少年少女発明クラブ指導員表彰

全国の少年少女発明クラブにおいて、長年、指導員として携わっていただいている方を対象にした「少年少女発明クラブ指導員表彰」の表彰式を挙行了しました。

【平成27年度 少年少女発明クラブ指導員表彰】

■表彰概要

対象者：指導員として10年以上継続して活動されている方

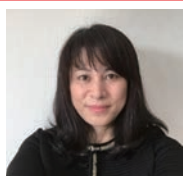
受賞者：97名

■表彰式

会期：平成28年2月26日(金) 会場：東京都港区・発明会館ホール ※第78回少年少女発明クラブ全国会議と併せて実施



くるめ少年少女発明クラブ(福岡県)



内野 秀華 先生(46歳)

指導員歴：11年(2004年～)

★参加のきっかけ

市の理科教育研究会の先輩に誘われ、将来科学の分野で活躍する子どもたちを育てたいという思いで参加しました。

★発明クラブ指導員のやりがい

小学校の授業ではできない電子工作や自作の発明品を完成させて喜ぶ子どもたちの姿に出会うこと。

★メッセージ・今後の抱負

久留米市出身の偉人「からくり儀右衛門」こと田中久重の発明品を通し、ものが動く仕組みの素晴らしさを多くの子どもたちに伝えたいと思います。

町田市少年少女発明クラブ(東京都)



小泉 志津男 先生(78歳)

指導員歴：10年(2005年～)

★参加のきっかけ

児童造形学者の故太田昭雄氏に誘われ、氏が亡くなる寸前「10年は辛抱して続けてほしい」と遺言？されたことが支えになりました。

★発明クラブ指導員のやりがい

学校の授業やクラブ活動にはない、子どもたちの科学を通した豊かな創造性を多くのボランティア仲間たちと一緒に育て、全国大会や東京都でその成果が形として現れた時。そして、彼らの活躍がテレビ、新聞、雑誌などメディアに出て、親、学校、周囲から賞賛された時です。

★メッセージ・今後の抱負

町田市で「子どものための子どもたちによるまちづくりを！」を新たな目標にしたいと思います。

台湾派遣団全員が受賞！ 2015 IEYI (世界青少年発明工夫展)



イベント概要

アジアを中心とした国と地域の若き発明家が集い、毎年、主催国を変えて開催されています。2015年度は、台湾・新北市で開催されました。

■名称	2015 International Exhibition for Young Inventors (世界青少年発明工夫展)
■開催期間	平成27年11月16日～11月18日 (派遣期間 11月14日～11月20日)
■会場	新北市政府庁舎 大礼堂
■主催	新北市政府、国立台湾師範大学
■参加国・地域	香港、インドネシア、日本、マカオ、マレーシア、シンガポール、タイ、台湾、ベトナム
■参加作品数	創作品107作品、絵画30作品

【日本代表の結果】

「全日本学生児童発明くふう展」「未来の科学の夢絵画展」「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」で優秀な成績を収めた青少年計12名で構成された派遣団は、金メダル3個、銀メダル4個、銅メダル2個、各国特別賞8個を獲得し、全員受賞という素晴らしい成果を挙げました。



第 72 回全日本学生児童発明くふう展受賞者

國分 崇宏	金メダル・マレーシア特別賞
石山 翔雲	銀メダル
海田 匠美	銀メダル・インドネシア特別賞
池田 直哉	銀メダル・タイ特別賞
笹崎 晃瑤	銅メダル
中村航太郎	金メダル・タイ特別賞
高橋 諒	銅メダル・マカオ特別賞

第 37 回未来の科学の夢絵画展受賞者

相生 康博	金メダル
金田 仁愛	銀メダル・台湾特別賞

第 4 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト受賞者

田中 廉	香港特別賞・台湾特別賞
森 優太	
長山 亮太	

地元メディアの注目度も高く、
多くの取材を受けました。



オープニングセレモニーでは、台湾の馬英九
総統からご挨拶いただきました。



審査委員や来場者に対して、積極的に英語で作品説明を
行いました。連日、日本ブースは大盛況でした。



発明工夫を通じて他国の子どもたちとも交流を
深めることができました。



応援メッセージ

情報に流されず、 自分でよく考える

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
名誉リサーチャー 二木 鋭雄 先生



◆ Profile ◆

東京大学先端科学技術研究センター教授、センター長などを歴任。国際フリーラジカル学会会長、日本油化学会会長を務めたほか、「ストレスの科学と健康」、「プロビタミンC」などの編著がある。

数百万年前、この地球に出現した人類は長い時間をかけた進化の過程でいろいろな発明をしてきました。特に近代の科学技術の発展ぶりは目を見張るものがあります。私たちの日々の生活も、多くの発明のおかげで、より快適で便利になってきています。

しかし、多くの難題が残されているばかりでなく、新しい課題もでてきます。地球環境、エネルギー、食糧・水資源、あるいは健康についても、解決しなければならない問題がたくさんあります。

最近は膨大な情報を簡単に手に入れることができるようになりましたが、大事なことは、あふれる情報に流されず、自分でよく考えることだと思います。若い皆さんには、よく考え、創意工夫して、新しい発明につながるよう努力していただきたいと思います。期待しています。

はつめいキッズからのメッセージ

※学校・学年は応募時のものです。

第74回全日本学生児童発明くふう展 恩賜記念賞受賞



みちわき えこ
道脇 愛羽さん

私立聖徳学園小学校2年(東京都)

作品名
「無針弧ンパス」

私は、小さい頃から工作をしたり、計算をしたりするのが大好きです。

昨年の夏休み、母が飲み終えたコーヒーの紙製のカップをもらって、いつものように工作をすることにしました。カップの底の中心に、小さな穴をあけて、その穴にストローを差し込んで、転がるおもちゃを作ろうと考えました。転がしてみると、カップが弧を描いて転がったのです。これを見て私は、とても驚きました。これは、まるでコンパスのようだと思います。「この原理を利用してコンパスのように、円や円弧を描くことが出来る道具を作ることが出来ないだろうか?」と考えました。これが、無針弧ンパスの発明のきっかけです。

私の父は、いつも本質的な物の見方や考え方を、とても解りやすく、諭してくれます。今回の発明でも原理の検討や試作にあたっては、「なぜそうなるのかな?」と、私を諭してくれました。

少しずつ疑問の答えを見付けたり、問題の解決を図ったりして、徐々に、試作品の構想を固めていき、ついに試作品を完成させました。

そして、コンパスと定規だけを使って、円の中心を推定する方法を応用して、ヒモと巻き尺だけを使って、無針弧ンパスで描いた半径十メートルの大きな円の中心を計測して推定してみました。その結果、±20mm程度のズレで円が描けていることが判りました。

試作に当たっては、目盛の位置を決めることや車輪の大きさを決めることなど、数学を応用して曲率半径を算出するための公式を導き出したり、様々な数値計算をしたり、一つ一つとっても大変でしたが、最後には上手く完成させることが出来て、とても良い経験が出来ました。

私は、将来、世の中のためになる発明や発見をたくさんしたいと思います。

(表彰式答辞より抜粋)

第38回未来の科学の夢絵画展 文部科学大臣賞受賞



いせや めぐ
伊瀬谷 芽生さん

十和田市立三本木小学校6年(青森県)

作品名 「手話電話機」

今回、賞をいただいたこの作品は、誰もが暮らしやすい社会にしていけるためには、どうすればよいかと考えたことをきっかけに描いたものです。去年、私は、ヘレン＝ケラーの伝記を読んで、どんな困難にもくじけずに努力を重ね、社会で活躍した彼女の生き方に心を打たれました。それと同時に、障害をもっている方が、不便を感じることなく生活を送ることができるになれば、誰もが暮らしやすい社会に近づけるのではないかと考えました。

そこで、私は、普段手話で会話する方たちが、電話を使って遠くの人と会話できたら便利だろうと考えました。その時、思いついたのが、この「手話電話機」です。この電話機は、電話の相手の名前と、相手が話していることが手話と文字で画面に映し出されます。そのため、耳が不自由な人でも、

手話を見て、相手の話を理解することができます。また、手話が分からない人でも、文字を読めば相手と会話ができるのです。

私は、いつかこの「手話電話機」のような機械が発明され、手話ができる人とできない人同士が会話を楽しみ、快適な生活ができるようになることを願っています。

そして、今回の受賞をきっかけに、よりよい社会を築いていくためには、自分のことだけでなく他の人の生活にも目を向けることが大切だと改めて感じました。このことを生かし、これからも、誰もが楽しく暮らしていける社会にするにはどうしたらよいか考えていきたいと思います。

(表彰式答辞より抜粋)

平成27年度 青少年創造性開発育成海外交流 International Exhibition for Young Inventors (2015 IEYI)

金メダル・インドネシア特別賞受賞



なかむら こうたろう
中村 航太郎さん

長岡京市立長岡第二中学校1年(京都府)

作品名 「計算歯車」

ばくはこの派遣団で「成長したな」と思うことがあります。それは一つの方法でできなかったことをさらに別の方法でできるか考え実行することです。派遣団に参加するまでは失敗したり方法がわからなかったりしたらすぐに父や母に方法を教えてもらっていました。しかし、ブースにいて他国の人が来たとき英語が通じなくても助けを求められる人はいません。そこでどうしても自分で別の方法を考えないといけません。それによって僕は成長したと思います。

僕の作品は、見てほしいところが正面からしか見えません。しかし、僕はそれに気づかずに説明を続けていました。中学生10人ぐらいが僕のブースに訪れた時、僕は同じように説明をしました。半分の人には理解してくれましたが残りの半分の人、正面にいなかった人はわかってなさそうな顔をしていました。そこでようやく、「正面にいない人は見えてないのかな」と気付きました。でも僕の作品は重たいので簡単に動かせません。そこで僕は次来た人に正面に集まるようお願いしまし

た。するとみんなわかってくれました。

さらに、最も伝えたい部分である「計算機」「電池や電気を使っていない」というフレーズを中国語にしようと思いました。でも僕には翻訳する手段がありません。そこで他の団員や周りの方に相談して何とか翻訳することができました。

このように人に相談することは大切だと思います。でも中学生ぐらいからは一人で解決することも大切だと思います。これからは一人で考えないといけないことがたくさん出てくると思うけどなるべく人に迷惑をかけないように自分で解決し、どうしても無理なことはほかの人に相談していきたいです。

僕はこの派遣団でたくさんの友達ができました。この派遣団は友達なしでは成り立たなかったと思います。一つの方法でできなかったことをさらに別の方法でできるか考え実行することを身につけられたのも友達のおかげだと思います。このことをしっかりとこれからの生活にも生かしていきたいと思います。

全国の少年少女発明クラブ一覧

■北海道・東北

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
1	北海道	札幌中島少年少女発明クラブ
2		旭川少年少女発明クラブ
3		函館少年少女発明クラブ
4		小樽少年少女発明クラブ
5		帯広少年少女発明クラブ
6		札幌西少年少女発明クラブ
7		北見少年少女発明クラブ
8		苗穂少年少女発明クラブ
9		増毛少年少女発明クラブ
10		釧路少年少女発明クラブ
11	青森県	十和田市少年少女発明クラブ
12		八戸市少年少女発明クラブ
13		弘前市少年少女発明クラブ
14		青森市少年少女発明クラブ
15		むつ市少年少女発明クラブ
16		五所川原市少年少女発明クラブ
17		黒石市少年少女発明クラブ
18		三沢市少年少女発明クラブ
19		小泊少年少女発明クラブ
20		平川市少年少女発明クラブ
21		六ヶ所村少年少女発明クラブ
22		板柳町少年少女発明クラブ
23		大鰐町少年少女発明クラブ
24	岩手県	盛岡市少年少女発明クラブ
25		奥州市少年少女発明クラブ
26		北上市少年少女発明クラブ
27		大東町少年少女発明クラブ
28		花巻少年少女発明クラブ
29	宮城県	一関市少年少女発明クラブ
30		仙台市泉少年少女発明クラブ
31		富谷少年少女発明クラブ
32		仙台市太白少年少女発明クラブ
33		仙台市青葉少年少女発明クラブ
34		大和町少年少女発明クラブ
35		大衡村少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2015年5月号 はつめいプリンス

飯塚少年少女発明クラブ(福岡県)

竹田 有吾さん(中1)



「発明くふう展」「未来の科学の夢絵画展」でダブル受賞!! 発明クラブの先生のアドバイスで自分の発明を作品にでき、さらに賞をいただくことが出来てすごくうれしいです。これから、ものづくりや発明をしていきたいです。みなさん、発明楽しいですよ!

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
36	秋田県	大館少年少女発明クラブ
37		本荘少年少女発明クラブ
38		秋田市少年少女発明クラブ
39	山形県	山形少年少女発明クラブ
40		鶴岡少年少女発明クラブ
41		東根少年少女発明クラブ
42		三川少年少女発明クラブ
43		米沢少年少女発明クラブ
44		最上少年少女発明クラブ
45		天童少年少女発明クラブ
46	福島県	福島市少年少女発明クラブ
47		郡山市少年少女発明クラブ
48		南相馬市少年少女発明クラブ
49		会津若松市少年少女発明クラブ
50		喜多方市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2015年7月号 はつめいプリンス

松戸市少年少女発明クラブ(千葉県)

寺倉 佑紀さん(中1)

小学2年生より松戸市少年少女発明クラブで活動し、今年で6年目になります。手に持っているのは小学5年生の時に発明し、千葉県児童生徒・教職員科学作品展で優良賞を受賞した「地震も知らせる壁かけ目覚まし『セミブラザーズ』」です。クラブの先生のご指導のもと、今後もいろいろなものを発明していきます。



■関東

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
51	茨城県	水戸少年少女発明クラブ
52		ひたちなか少年少女発明クラブ
53		石岡少年少女発明クラブ
54		日立少年少女発明クラブ
55		牛久市少年少女発明クラブ
56	栃木県	小山市少年少女発明クラブ
57	群馬県	前橋少年少女発明クラブ
58		高崎少年少女発明クラブ
59		桐生少年少女発明クラブ
60		富岡少年少女発明クラブ
61	埼玉県	加須市少年少女発明クラブ
62		さいたま市少年少女発明クラブ
63		新座市少年少女発明クラブ
64		川口市少年少女発明クラブ

■中部

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
65	千葉県	千葉市少年少女科学クラブ
66		八戸少年少女発明クラブ
67		松戸市少年少女発明クラブ
68		旭少年少女発明クラブ
69		佐倉少年少女発明クラブ
70		茂原少年少女発明クラブ
71		市原・袖ヶ浦少年少女発明クラブ
72		船橋市かつしか少年少女発明クラブ
73	東京都	台東区少年少女発明クラブ
74		調布少年少女発明クラブ
75		おおた少年少女発明クラブ
76		町田市少年少女発明クラブ
77	神奈川県	横浜中田少年少女発明クラブ
78		川崎少年少女発明クラブ
79		川崎さいわい少年少女発明クラブ
80		川崎北部少年少女発明クラブ
81	長野県	須高少年少女発明クラブ
82		大町少年少女発明クラブ
83		長野少年少女発明クラブ
84		松本少年少女発明クラブ
85		飯田少年少女発明クラブ
86	山梨県	甲府少年少女発明クラブ
87		都留少年少女発明クラブ
88		身延町少年少女発明クラブ
89	静岡県	湖西少年少女発明クラブ
90		浜松少年少女発明クラブ
91		三島市少年少女発明クラブ
92	新潟県	十日町少年少女発明クラブ
93		新潟市少年少女発明クラブ
94		上越市少年少女発明クラブ

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
95	愛知県	刈谷少年少女発明クラブ
96		豊田少年少女発明クラブ
97		大府市少年少女発明クラブ
98		西尾市少年少女発明クラブ
99		東海市少年少女発明クラブ
100		安城市少年少女発明クラブ
101		高浜市少年少女発明クラブ
102		半田市少年少女発明クラブ
103		岡崎市少年少女発明クラブ
104		知立少年少女発明クラブ
105		碧南市少年少女発明クラブ
106		一宮少年少女発明クラブ
107		阿久比町少年少女発明クラブ
108		豊川少年少女発明クラブ
109		名古屋少年少女発明クラブ
110		蒲郡少年少女発明クラブ
111		豊橋少年少女発明クラブ
112		大口少年少女発明クラブ
113		北名古屋少年少女発明クラブ
114	岐阜県	日進市少年少女発明クラブ
115		田原市少年少女発明クラブ
116		愛知みよし少年少女発明クラブ
117		幸田町少年少女発明クラブ
118	岐阜県	岐阜市少年少女発明クラブ
119		各務原市少年少女発明クラブ
120		大垣市少年少女発明クラブ
121		多治見市少年少女発明クラブ
122	三重県	瑞穂市少年少女発明クラブ
123		津市少年少女発明クラブ
124		鈴鹿少年少女発明クラブ
125		河芸少年少女発明クラブ
126	富山県	桑名市少年少女発明クラブ
127		福光少年少女発明クラブ
128		高岡少年少女発明クラブ
129		黒部少年少女発明クラブ
130		小杉少年少女発明クラブ
131		砺波市少年少女発明クラブ
132	石川県	小矢部少年少女発明クラブ
133		金沢市少年少女発明クラブ
134		小松市少年少女発明クラブ
135		羽咋市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2015年9月号 はつめいプリンス

砺波市少年少女発明クラブ(富山県)

村中 陸人さん(小5)

6月から地域アイデア創作活動に取り組んでいます。9月12日(土)13日(日)に開催される「となみ産業フェア パワー博2015」で、地元、砺波の楽しい見どころをアピールできるようがんばります！皆さん、見に来てください。



全国の少年少女発明クラブ一覧

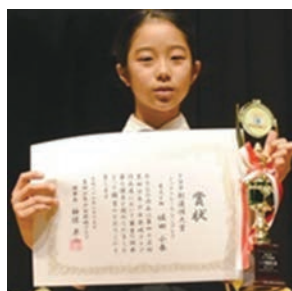
■近畿

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
136	福井県	福井市少年少女発明クラブ
137	滋賀県	大津少年少女発明クラブ
138		多賀町少年少女発明クラブ
139		永源寺少年少女発明クラブ
140		愛荘町少年少女発明クラブ
141		湖南市少年少女発明クラブ
142		彦根市少年少女発明クラブ
143		栗東市少年少女発明クラブ
144	京都府	長岡京市少年少女発明クラブ
145	大阪府	交野市少年少女発明クラブ
146		東大阪市少年少女発明クラブ
147		大阪市森之宮少年少女発明クラブ
148		大阪市日本橋少年少女発明クラブ
149		大阪市生野少年少女発明クラブ
150	兵庫県	神戸市少年少女発明クラブ
151		淡路少年少女発明クラブ
152		伊丹市少年少女発明クラブ
153		姫路少年少女発明クラブ
154	奈良県	大和郡山市少年少女発明クラブ
155		高取町少年少女発明クラブ
156		奈良市少年少女発明クラブ
157	和歌山県	有田市少年少女発明クラブ
158		海南市少年少女発明クラブ
159		和歌山市少年少女発明クラブ
160		御坊市少年少女発明クラブ
161		紀の川市少年少女発明クラブ
162		有田川町少年少女発明クラブ
163		橋本市少年少女発明クラブ
164		田辺市少年少女発明クラブ
165		新宮市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2015年11月号 はつめいプリンセス

豊田少年少女発明クラブ(愛知県)

堀田 小春さん(小6)



「トットレール・アンブレラ」が平成27年度トヨタ創造性大賞受賞。第74回全日本学生児童発明くふう展では日本弁理士会会長賞受賞。傘を使ったら、どこかへ忘れてきたり、傘を干すとき場所をとったりするので困っていました。そこで、何か良いアイデアはないかと考え、傘のトットを取る方法を思いつきました。トットはボタンを押して簡単に抜き差しができるようにしました。

■中国

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
166	鳥取県	鳥取市少年少女発明クラブ
167	島根県	出雲少年少女発明クラブ
168		大社町少年少女発明クラブ
169		日原少年少女発明クラブ
170		松江少年少女発明クラブ
171	岡山県	玉野市少年少女発明クラブ
172		津山市少年少女発明クラブ
173		岡山市少年少女発明クラブ
174	広島県	広島少年少女発明クラブ
175		呉市少年少女発明クラブ
176		東広島市少年少女発明クラブ
177		福山少年少女発明クラブ
178	山口県	柳井市少年少女発明クラブ
179		山口市少年少女発明クラブ
180		下関市少年少女発明クラブ
181		田布施町少年少女発明クラブ
182		防府市少年少女発明クラブ
183		宇部市少年少女発明クラブ
184		周南少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2016年1月号 はつめいプリンセス

防府市少年少女発明クラブ(山口県)

内山 美優さん(中1)



昨年初めて発明クラブの会員になり、初めて応募した2014やまぐち未来の科学の夢絵画展で奨励賞を受賞しました。今年は電気・電子工作コースでプログラミングとライントレーサーの工作に挑戦しています。

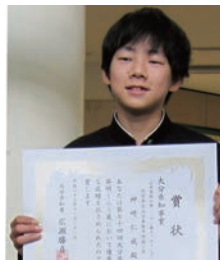
■四国

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
185	徳島県	阿南市少年少女発明クラブ
186		北島町少年少女発明クラブ
187		三好少年少女発明クラブ
188	香川県	三木町少年少女発明クラブ
189		三豊市少年少女発明クラブ
190		東かがわ市少年少女発明クラブ
191	愛媛県	今治市少年少女発明クラブ
192		砥部町少年少女発明クラブ
193		松山市少年少女発明クラブ
194	高知県	南国市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2016年3月号 はつめいプリンス

大分少年少女発明クラブ(大分県)

神崎 仁成さん(中1)



家の中にある容器にポリエチレン製の袋を
入れるとゴミ箱になるが、もっとしっかり
した形のゴミ箱ができないかという母の
悩みを解決するために考えて作った作品が
県知事賞を受賞し、第74回全日本学生児童
発明くふう展で入選しました。次の機会に
はもっと凄いものを考えて作りたいと思い
ます。

■九州・沖縄

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
195	福岡県	北九州市少年少女発明クラブ
196		福岡市少年少女発明クラブ
197		山田市少年少女発明クラブ
198	佐賀県	飯塚少年少女発明クラブ
199		くるめ少年少女発明クラブ
200		武雄市少年少女発明クラブ
201	長崎県	佐賀市少年少女発明クラブ
202		長崎市科学館少年少女発明クラブ
203		諫早市少年少女発明クラブ
204	熊本県	荒尾少年少女発明クラブ
205		大分少年少女発明クラブ
206		別府少年少女発明クラブ
207	大分県	きつき少年少女発明クラブ
208		佐伯市少年少女発明クラブ
209		ひた少年少女発明クラブ
210	宮崎県	豊後高田少年少女発明クラブ
211		宇佐少年少女発明クラブ
212		くにさき少年少女発明クラブ
213	鹿児島県	中津少年少女発明クラブ
214		都城少年少女発明クラブ
215		宮崎少年少女発明クラブ
216	沖縄県	延岡少年少女発明クラブ
217		鹿児島少年少女発明クラブ
218		なは市少年少女発明クラブ

発明協会発行媒体「少年少女発明クラブニュース」(奇数月発行)では、毎号の表紙で発明クラブの紹介をしています。
今回の報告書では、2015年度に表紙を飾った「はつめいプリンス&プリンス」をご紹介します。
※所属・学年は掲載時のものです。

★ウェブサイト「はつめいキッズ」★

ホームページ「はつめいキッズ」は、発明協会の青少年創造性開発育
成事業紹介に加え、ホームページを訪れた子どもたちのさまざまな
意欲を刺激し応援するコンテンツになっています。

【URL】 <http://kids.jiii.or.jp>

- 少年少女発明クラブ
- 地域活性化アイデア創作活動
- 全日本学生児童発明くふう展
- 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
- 未来の科学の夢絵画展
- 青少年創造性開発育成海外交流派遣団
- +工作のヒント、発明クラブニュース、
過去の受賞作品や大会動画などが掲載されています



2015 年度青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金

当協会の「青少年創造性開発育成事業」に対し多くの企業・団体から協賛金及び寄付金を賜りました。多くのご支援に対し心より御礼を申し上げます。

皆様からいただいた貴重な資金を活用させていただき、少年少女発明クラブ、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少年少女チャレンジ創造コンテストをはじめとする「青少年創造性開発育成事業」を実施することができました。これにより、モノづくりを通じた青少年の科学的な考え方、発明工夫の重要性等の意識向上を図ることができ、我が国の次代を担う創造性豊かな人材の育成に繋げさせていただきました。

◆ ゴールドスポンサー

AsahiKASEI

Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

EBARA

食品加工機械・製菓機械
カジワラ

Canon

KOBIRO

SHIMA SEIKI

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

より、そう、ちから。
東北電力

JPA
日本弁理士会

Panasonic

PIGEON

HITACHI
Inspire the Next

MITSUBISHI
ELECTRIC
Changes for the Better

◆ シルバースポンサー

AMADA

NTT DATA

サタケ

EPSON
EXCEED YOUR VISION

DNP 大日本印刷

武田薬品工業株式会社

DENSO

TOYOTA
株式会社 豊田自動織機

SEL
株式会社 半導体エネルギー研究所

三菱重工
この星に、たしかな未来を

◆ ブロンズスポンサー

アイシン精機株式会社、旭精工株式会社、アステラス製薬株式会社、株式会社石井鐵工所、エス・オー・シー株式会社、キタムラ機械株式会社、寿産業株式会社、株式会社ササキコーポレーション、株式会社ジェイテクト、株式会社島津製作所、住友電気工業株式会社、第一三共株式会社、東レ株式会社、豊田合成株式会社、トヨタ車体株式会社、トヨタ紡織株式会社、日本発条株式会社、日産自動車株式会社、株式会社日立ハイテクノロジーズ、富士フイルム株式会社、ブラザー工業株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社山本製作所

◆ 寄 附

トヨタ自動車株式会社



青少年創造性開発育成事業 報告書2015

Annual Report 2015
Promotion of Young People's Creativity

発行／2016年6月



お問い合わせ先／

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14

TEL 03-3502-5434 FAX03-3502-3485

公益社団法人発明協会 Webサイト <http://koueki.jiii.or.jp/>

はつめいキッズWebサイト <http://kids.jiii.or.jp/>



本書の全部または一部の無断転用を禁じます。
©2016 Japan Institute of Invention and Innovation